

第3章

基本理念・基本目標

みんなが気持ちよく
暮らすために
自分にできる一歩

地域行事に参加する。
参加し、地域の良さを知りたい。

1 計画の基本理念

市民一人ひとりと 地域が創る 幸せあふれるまち

第2次牧之原市総合計画では、「絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う NEX Tまきのほら」という将来都市像を掲げ、施策を展開しています。本計画でもこの将来都市像の実現へ向け、地域福祉を推進します。

また、国では、あらためて住民同士のつながりを深め、共に助け合い、支え合いながら、地域の課題を解決する力を身に着けることで、住民一人ひとりが住み心地の良い暮らしと生きがいをもつ「地域共生社会」を目指しています。

本計画では、牧之原市が目指す将来都市像や国の地域福祉に係る動向を踏まえ、「市民一人ひとりと 地域が創る 幸せあふれるまち」を基本理念に掲げます。



2 計画の基本目標

基本理念として掲げる「市民一人ひとりと 地域が創る 幸せあふれるまち」を達成するため、次の4つの基本目標に沿って施策を展開します。

基本目標 1 助け合いの「心」を育てる

地域福祉の推進にあたり、まず第一歩として、福祉へ関心をもち、助け合うことの大切さについて理解を深めることが重要です。地域福祉に関する情報提供や、地域や学校における福祉教育の推進により、地域福祉に対する意識の醸成、向上を図ります。

基本目標 2 助け合う「人」を育てる

福祉への関心を高め、知識を身に着けた後は、実際に地域での交流の場や助け合いの活動に参加することが重要です。地域活動への参加の促進や新たなリーダーの育成を進め、誰もが地域福祉活動に参加するまちを目指します。

基本目標 3 地域で助け合う「仕組」を育てる

地域福祉活動をより活発なものに、また、継続的に行うためには、地域で助け合う仕組みをつくることです。地域活動の推進や、住民自ら防災・防犯活動を行うことで、地域での助け合いの充実を図ります。

基本目標 4 幸せあふれる「環境」をつくる

「基本目標1」「基本目標2」「基本目標3」を円滑に推進するため、福祉支援の充実や多様な福祉問題を抱える人に対する支援、権利擁護のための体制の強化等の環境を整えます。

■基本目標のイメージ



3 計画の体系

■計画の体系

| 基本目標 | | 施策 |
|--------|---------------------|----------------------|
| 基本目標 1 | 助け合いの 「心」を育てる | 1 地域福祉に関する情報提供 |
| | | 2 地域や学校における福祉教育の推進 |
| 基本目標 2 | 助け合う 「人」を育てる | 1 地域活動への参加の促進 |
| | | 2 新たなリーダーの育成 |
| 基本目標 3 | 地域で助け合う 「仕組」を育てる | 1 地域活動の推進 |
| | | 2 防災・防犯活動の推進・充実 |
| 基本目標 4 | 幸せあふれる 「環境」をつくる | 1 福祉支援の充実 |
| | | 2 多様な福祉問題を抱える人に対する支援 |
| | | 3 権利擁護のための体制の強化 |

4 計画の指標

基本目標 1 助け合いの「心」を育てる

| 指標 | 基準値 | 目標値 | 主管課 |
|----------------------|--------------------|--------|--------------------|
| | 2018年度 (平成30年度) | 2022年度 | |
| 福祉への関心度 | 62.4% | 72.4% | 社会福祉課 (アンケート調査) |
| 小学校で福祉出前講座に参加した児童の割合 | 58.5% | 68.5% | 社会福祉協議会 |

基本目標 2 助け合う「人」を育てる

| 指標 | 基準値 | 目標値 | 主管課 |
|--------------------------------|--------------------|--------|--------------------|
| | 2018年度 (平成30年度) | 2022年度 | |
| 市民の福祉活動が活発に行われているまちであると感じる人の割合 | 21.6% | 41.6% | 社会福祉課 (アンケート調査) |
| ボランティア活動に参加したいと思う人の割合 | 53.5% | 63.5% | 社会福祉課 (アンケート調査) |

基本目標 3 地域で助け合う「仕組」を育てる

| 指標 | 基準値 | 目標値 | 主管課 |
|-----------------------------|--------------------|--------|--------------------|
| | 2018年度 (平成30年度) | 2022年度 | |
| 困った時に隣近所で助け合えるまちであると感じる人の割合 | 53.0% | 63.0% | 社会福祉課 (アンケート調査) |
| 地域の絆づくり事業に取り組む地区の数 | 8地区 | 10地区 | 地域振興課 |

基本目標 4 幸せあふれる「環境」をつくる

| 指標 | 基準値 | 目標値 | 主管課 |
|----------------|--------------------|--------|--------------------|
| | 2018年度 (平成30年度) | 2022年度 | |
| 他の組織・団体との連携の有無 | 76.2% | 81.2% | 社会福祉課 (アンケート調査) |
| 成年後見制度の認知度 | 33.7% | 48.7% | 社会福祉課 (アンケート調査) |

※アンケート調査は2017年度(平成29年度)に実施しており、その結果を基準値としている。